



2015年6月4日発行 会報第794号

今週のプログラム

(2015年6月4日 第794回例会)

卓話: 「米山奨学生 肖玫岑さんの自己紹介」

担当: 藤田 芳浩 会員

次週のプログラム

(2014年6月11日 第795回例会)

創立記念例会

担当: 村田 純子 親睦委員長

第793回例会 (2015年5月28日) の記録

<ロータリーソング>

全会員

♪ R-O-T-A-R-Y ♪

<会長の時間>

高尾会長

2015年5月22日、第2660地区 IM第2組北摂12RC現・次期会長幹事会に出席してきました。ホストクラブは高槻西 RC で、開催場所は桃谷樓ヒルトンプラザウエストで開催されました。ホストクラブ会長の間石様が挨拶され、続いて2660地区ガバナーエレクト立野純三様の挨拶があり、第2組ガバナー補佐の簡様の現況報告がありました。ガバナーエレクトの立野様は職業分類(金物製造)で、1990年、株式会社ユニオンの代表取締役社長に就任され、大阪ロータリークラブには1989年に入会されました。お話の中で印象に残りましたことを述べさせていただきます。2660地区において、会員数の減少により、会計がマイナス傾向にあり、次年度の予算案を作成するときに、赤字予算案は組めない。企業でいうと、倒産の危機であり、数年先には資金が枯渇することでした。そのため将来を考えた、行事計画案・予算案等に特に留意をしたいとのこと。やはり、我々を含めて、ロータリークラブは変革が必要という事でしょう。その後、懇談に入り同じテーブルに

立野ガバナーエレクト・簡ガバナー補佐・松田会長エレクトと私も一緒でした。立野ガバナーエレクト様は非常に温厚なご性格で、話しやすく、楽しい時間を過ごさせて頂きました。そして最後に次期ホストクラブが千里メイプル RC ですので、松田会長エレクトが閉会の挨拶をされました。松田会長は2016年2月にIMを開催させていただきますので、各クラブに千里メイプルの会員がお伺いをさせていただきます。その時には皆様の温かいお気持ちで迎えて頂いて、何卒ご支援をと、真摯に話されていました。

<ピアノ演奏曲>

近藤美里さん

1. ロンドンデリーの歌
2. Top Of The World
3. 心迄
4. We're All Alone

<幹事報告>

幹事

1. 本日例会終了後、もず・はとの間に次年度アセンブリーを開催致します。次年度理事・役員・各委員長の皆様はご出席下さい。

<出席報告>

出席担当

会員数 (内出席免除会員3名)

23名

本日の出席者数（内免除会員2名） 19名
本日の出席率 90.48%
前々回(5月14日)の修正出席率 85%

< SAA報告 >

*スマイルボックス

山本(友)会員：黒川会員よろしくお願ひします。

コメント無：野崎会員、山下会員

*ロータリー財団

小山会員：来週欠席のお詫び。

木下(健)会員：暑いのはイヤです。

コメント無：高尾会長、山下会員

*米山記念奨学会

山田会員：黒川先生、卓話楽しみにしています。

コメント無：岸上会員、野崎会員、高尾会長、山下会員、相原会員

*ラオス基金

黒川会員：ラオスへ行こう

コメント無：高尾会長、山下会員

*メイプル基金

野崎会員：ゴルフスクールに行ってみました。

水本会員：いよいよ、残り1ヶ月ですね!!

水島会員：黒川会員、卓話よろしくお願ひします。

山本(友)会員：日曜日は雨予報ですが、SS会よろしく御願ひします。

高尾会長：黒川会員、IMよろしく。

山田克子会員：来週から出張します

木下(健)会員：黒川先生、卓話楽しみです。

黒川会員：卓話よろしく。

コメント無：岸上会員、山下会員

< 卓話 >

IM 実行委員長 黒川彰夫

IM (Intercity Meeting)を いよいよ「千里メイプルロータリークラブ」がホストクラブとして実行するのです。開催日は2016年2月27日です。成功の条件は、全会員の協力が必要なので、今回の卓話の演題にしました。12年前に実行したIMを思い出しながら話を進めます。前回は、2004年2月21日に実行されました。IMとは、近隣都市の複数のクラブで実施する都市連合のことで、グループ(わがクラブは2組)や大都市の

場合、その都市内の数クラブの会員が集まり合同で行う自由討論会で、一般にはガバナー補佐が主催して開かれることが多い。決議や決定はなく、IMへの出席はメイクアップとなる。目的は会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、立派なロータリアンの養成にある。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合。討論の主な内容は、5大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討する。テーマはロータリーのこと、一般社会のことで、そのときに話題になっていることや考えなければならぬ問題点など、多岐にわたる。形式も講演、フォーラムなどいろいろあり、グループや区内の会員の親睦も重要な目的であるから、懇親会も開催されることがある。

今、決まっていることは、山本加奈子氏に「ラオス農村地域における学校保健支援」についての講演を依頼し、快諾して頂いたことだけである。

松田次期会長によると、IMについて地区からのお願ひとして、今までインターシティミーティング(IM)と呼んでいたが、来年からは、「IMロータリーディ」と呼ぶそうである。これもIMについての地区方針が影響しているようだ。PETSでもらった、「地区からクラブへのお願ひ」では、IMについて「ロータリー情報を伝え奉仕の理想を勉強するという本来の目的に従い、担当ガバナー補佐の指導を得ながら企画し、実行お願ひします」との要請がされているとのこと。したがって、「地区の方針に沿ったIMにすべきである」という考えと「わがクラブの意見を前面に出すべきである」という考えがあると説明して頂きました。山本加奈子さんをメインに据えて、地区のニーズと如何にジョイントさせるかは非常に難しい。

そこで、多くの会員の意見をお聞きしましたが、わがクラブ活動の根幹であり特性である、「ラオス」と「福島」に主眼を置きIMを実行すれば、という意見が多かった。つまり、ロータリアンでもある福島の安倍住職に依頼して「AVEとつるりん和尚と福島の現状」などの演題で、歌と講演をお願いしては如何かと云う意見もあった。

結論は出なかったが、今後も全会員の意見と力を集約し、IM成功を実現したい。(文責：黒川)